

「新北建設事務所建設工事設計業務」公募型簡易プロポーザルに関する総評

今回のプロポーザルでは、調査表提出者5者から意欲的な提案が寄せられ、二次審査（ヒアリング）での厳正な審査を経て、委託先候補事業者1者を特定しました。

本業務は、山地が多く土砂災害（特別）警戒区域の指定箇所が全市の約40%を占める、面積も最も広い北区において、より一層の市民生活の安全・安心へ寄与することを目的に、区内2つ目の建設事務所を設置するための設計を行うものです。

プロポーザルでは、建設事務所として求められる「災害時における業務継続性」と環境に配慮した「ZEB oriented 相当以上」の省エネルギー性能を確保しながら、維持管理のしやすさやオフィス環境の快適性、機能性を満足する建築・設備計画への考え方と、特殊車両や危険物倉庫などを有する本施設において、建設コストや維持保全に配慮しながら木造化を実現するための構造や工法に関する考え方や地域産木材を活用するための設計上の工夫について提案を求められました。

特定された委託先候補事務所からは、北側道路が不通になるなどの非常時を想定した南側出入口の確保や、施設内の動線をシンプルで明快な計画とすることにより資材置場を拡充するなど、災害時を想定したバランスの良い配置・平面計画が提案されました。また、季節ごとの自然風の利用など地域の気候風土を活用した設備のみに頼らない消費エネルギー削減に対して工夫すると共に、床吹き出し空調や、木と緑を感じられる執務空間を計画することによる快適な執務環境への配慮、LCC 縮減に配慮した施設計画等の提案がなされました。地域と施設の特性を十分理解した実現可能性の高い提案となっている点が高く評価されています。

木造化に対しては、「木の軽やかさと RC の強さの特徴を活かしたハイブリッド構造」とし、地域産木材の県内流通状況を踏まえた製材、集成材、CLT を部位ごとに活用した発注時期の分散化や、市場流通材を基本としたモジュールの統一化など、材料一括方式における建設工期やイニシャル及びメンテナンスコストに配慮された現実的な提案についても高く評価されました。

課題を理解し、本業務に対する個別の検討が十分なされた的確な提案となっており、代表事務所他協力事務所まで、それぞれの役割が明確かつ総合的な体制が整えられた点についても評価されています。

ヒアリングでは、主任担当技術者をはじめとする出席者による明確な質疑応答により、本業務への十分な理解及び豊富な知識が感じられた点も評価のポイントとなりました。

2023年12月

神戸市建築工事設計監理外注委員会